

巻頭
記事

10月例会開催 10月例会を終えて

第28回中海テレビ放送杯野球大会出場

米子城VR体験/卒会にあたり

彩気煥発～さいきかんぱつ～/11月例会に向けて

『人間力を磨く』vol.3「花と人間の関係性」

秋田導秀OB、小説『ザ・ウォール「壁」』を出版!!/「Irotoridori」

現役No.1～彩～/私の愛しゃ精神/こんにちは赤ちゃん

Be a player

No.388

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 奥森秀夫 ◆編集責任者/担当 副会長 渡邊公平 ◆制作・編集 第47期広報委員会/委員長 下村英一

10月例会開催「米子・境港間を結ぶ高規格幹線道路について」

10月15日(金)、米子市観光センター2階多目的ホールにて政治行政委員会担当の10月例会が開催された。冒頭の奥森会長の挨拶では、我々ができることは未来を見据えて子供たちに残すことができることは何か、本例会テーマである米子・境港間の高規格幹線道路についてこの地域の発展を次世代に伝えられるようにしっかりと学び、考えてほしい旨を述べられた。続いて、奥森会長より前田会員と依副委員長に第二子誕生の出産祝いが贈られた。



今月の委員長タイムでは、ビジネス経営委員会の谷村委員長が自身の前職業である証券会社に勤めていた経験より、株式投資の基本について話をされた。投資の種類のほか、投資のアドバイス、チャートの読み方などを説明された。投資はわからないだけで理解すれば安全であることをぜひ知ってほしいと述べられた。また、企業の財務・業績などを記載している「会社四季報」をぜひ読んでほしいと説明された。



本例会は米子市長伊木隆司氏を講師に招き、「米子・境港間を結ぶ高規格幹線道路について」を演目とする第1部の講演、第2部のグループディスカッションから成る2部構成で開催された。

第1部では、伊木市長より講演

の冒頭に西部青年中央会の皆様には市政にご理解を頂いていること、また地域経済の発展に貢献していることに深く感謝を述べられた。講演の本題においては、米子・境港間を結ぶ高規格幹線道路の背景に地方創生における現状の国政状況を説明された。国政の中央省庁に認められるような地方の工夫を皆さんに考えてほしいことを述べられた。地方地域経済が発展するための工夫とは何かを考える上で、中国の目覚ましい経済発展の背景には都市計画におけるインフラ整備があることを自身の視察経験を交えて説明された。中国の地方におけるインフラ整備には明確な発展の意思があると述べられ、現状の米子・境港間の状況と比較された。そして、商業・工業・観光・防災の面で米子・境港間の地域経済が発展するためには米子・境港間の高規格幹線道路が必要であることを説明された。

第2部では、第1部で学び、感じたことを活かして「中央会会員で考える未来の高規格幹線道路」についてグループディスカッションを行った。グループは高規格幹線道路ができた場合、影響を受けるであろう関係団体、近隣住民のグループに分かれ、各団体の立場となって架空の幹線道路の課題、問題点、解決策、完成後のメリットを議論し、グループごとに発表を行った。この議論が未来の米子・境港間の高規格幹線道路の早期実現と地方発展に繋がることを切に願い、今後の動向に注目したいと思う。



(記事:金山)

10月例会を終えて

政治行政委員会委員長 宇佐見 啓輔
(エレックス株式会社 執行役員 システム部 部長)

この度は10月例会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。

10月例会では「米子・境港間の高規格幹線道路」に焦点を当て、経済団体に所属する企業として、地域の政治・行政活動の取り組みに対して会員の皆様に興味・感心を持ち、鳥取県西部地区や中海・宍道湖圏域をより良い未来へ繋いでいくためにはどう発展させていくのが良いのかを考える機会にさせていただきたいと思い企画しました。第1部では米子・境港間の高規格幹線道路への知識と関心を深めてもらう為、整備促進期成同盟会の会長でもある米子市長の伊木隆司氏を講師にお招きし、何故この高規格幹線道路は必要なのか?など熱い講義を行っていただきました。そして第2部では、他人事と捉えず、自分たちにも大きく影響していく事業であると考えてもらう為、グループ毎に割り当てられた立場に立ってディスカッションをして頂き、非常に有意義な内容になったと思っております。

Zoomでも参加が出来るようにハイブリッド開催としたこともあり、委員会メンバーの皆様には多くの労力を割いて頂いたおかげで、素晴らしい例会を開催することが出来ました。本当にありがとうございました。また、伊木市長にはお忙しい中、講師をお受けいただいたこと、心より感謝申し上げます。



第28回中海テレビ放送杯野球大会出場



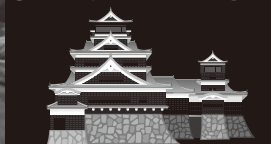
政治行政委員会 新井 翔太(サンイン・フーズ株式会社 営業部 係長)

令和3年10月3日西伯カントリーパークにて大会に出場して来ました。去年は新型コロナウイルスの関係で中止となり、2年ぶりの大会となりました。チームの主力だった方々が卒部して初めての試合でしたが、第1試合、南米クラブとの対戦で惜しくも初戦敗退。残念な結果ではありましたが、新入部員の山根副委員長のヒットや高見副委員長のフライ捌きなど、新しいメンバーの活躍を見ることが出来、新生チームでもやっていける事を確信できた試合だったと感じます。来年も1勝、2勝、3勝を目指して活動していきます。何卒引き続きのご声援を宜しくお願い致します。

応援に来て頂きました奥森会長、試合に参加して頂きました内田OB、福本OBありがとうございました。



米子城VR体験



米子市が米子城VR(バーチャルリアリティ)を始めているということで、米子市役所職員で新入会員である津村会員と文化振興課の岡雄一氏の解説を聞きながら米子城VRを体験してきました。

アプリをスマホにインストールしてスマホの画面越しに見てみると・・・、目の前に米子城があるかのような映像が!!最新の研究も取り入れられている天守閣、四重櫓、枳形などの名所が浮かび上がり、大迫力のかつての姿を拝むことができました。

今現存する米子城跡の魅力とかつての米子城の魅力のコラボレーションの前に取材陣は感嘆の声を上げるばかりでした。

岡氏によりますと、米子城をもっとたくさんの人に関心を持っていただくためにVR事業を始めたとのこと、かなり反響があるようです。

さらにカードをアプリのカメラで読み取ると米子城の2つの天守が現れる「ARカード」というものもあります。

まだ米子城VRを体験したことがない方はこの機会にぜひ体験してみてください。想像以上の体験をすることができます。

なお、歩きスマホにはご注意ください。

(記事:小原)

~卒会にあたり~

濱 真一 (株)カーロード山陰 専務取締役



第43期(平成30年)入会の濱真一です。あっという間にラストイヤーとなりました。入会当初は単純に仕事に繋がる人脈が広がればいかなと思っていました。ですが、中央会の委員会活動や懇親会を通じてビジネスマナー、人前での話し方、資料の作り方等様々なことを学ばせていただき吸収させていただきました。

また皆生トライアスロンや大山お地蔵様フェスティバルの活動では全員で一致団結して取り組むこと、関係各所への配慮をすること等を学びました。

中央会を通じて大変なこともたくさんありました。ですが、これまでの人生経験の中で大切な学びや仲間ができました。皆様も中央会活動をしっかりといただき、自分と同じ思いで卒会していただけたら嬉しいです。

4年間ありがとうございました。

彩気煥発 ~さいきかんぱつ~

四字熟語「才気煥発」の意味には才能が輝くこととあります。中央会を彩る、キラリと輝く会員を紹介します。

総務委員会 田本 真大(山陰酸素工業株式会社 出雲支店LPガス直売課 課長)

私は「彩(才)気煥発」とはかけ離れた平凡な男です。学生時代、特に優れたところもありませんでした。社会人になってからは、真摯にそして愚直に仕事に向き合ってきた結果今の自分があります。自慢できることと言えば少しずつ小さくなっているゴルフのスコアと、仕事のロールプレイング大会で全国大会に出場したことくらいでしょうか。全国大会に出場した際は副賞としてハワイ旅行に招待いただきました。二度目のハワイは新婚旅行で行ったことがあり、少しハワイ通になりました。

ガス会社に入社したこともあり数多くの資格を取得しました。中には業務に必要な資格もありますが。最近では興味本位で簿記の資格を取ってみようと思いつき、11月の試験合格へ向けて毎週木曜日は仕事終わりに簿記講習に通っています。この歳になり自己研鑽に目覚めています。自分を高めることにどんどん投資していき、中央会という多くの事が学べる場で色んなことを吸収し、自分なりの彩りを輝かせていきたいと思えます。



11月例会に向けて

広報委員会委員長 下村 英一

(山陰建設サービス株式会社 営業部 営業二課 課長)



この度の11月例会は「SNSをもっと知り、企業の未来を切り開く」というテーマで皆様にはSNSについて学んでいただけます。近年、SNSの利用者は増えており、企業においてもSNSを活用した広報活動等は重要な戦略の一つとなっております。それだけSNSは企業の成長において重要な役割を担っているのではないのでしょうか。

本例会は「もっと知ろうSNS」「SNSを通して自社を考察する」の2部構成としております。第1部ではSNSの知識や活用事例を分かりやすく解説し、第2部ではSNSを通して自社の課題解決のきっかけとなるようワークショップを行います。この例会を通してSNSの魅力を知っていただき、会員企業の成長や新たな可能性を引き出す機会になればと考えております。

SNSを活用されていない会員企業はもちろん、すでに活用されている会員企業においても学びとなるよう委員会メンバーで一生懸命作り上げておりますので、皆様のご参加お待ちしております!!

有限会社花秀 代表取締役 渡部秀夫氏にお話を伺いました。

第2編集部/石井道治(リーダー)、
小原武史、梅原雅明、岡田英憲

私達は日々の生活の中で色々な場面で「花」に助けられています。贈り物、御祝い、お礼、お見舞いやイベントなどを通して花を目にする機会は多く、生活していく上で大きく関係しています。

今月のハンサム連載企画『人間力を磨く』では有限会社花秀代表取締役の渡部秀夫氏に取材させていただきました。渡部氏は鳥取県内第一号のフラワー装飾技能士としてご活躍されており、米子花商協同組合の理事長であり鳥取県西部中小企業青年中央会の第18期会長も務められ中央会において13年ご尽力頂きました。今回の取材では「花と人間の関係性」というテーマでお話を伺いました。

花は生き物と同じと考えております。私達は一番華やかに彩られた状態を目にします。永く華やかさを持続する秘訣を教えてください。

花は水さえ替えれば長持ちします。専用のスポンジを使用する事でバクテリアの繁殖を防ぐことが出来より持続させる事が可能となったのでそれを使用すると良いですよ。こまめに気にかけてあげることが大事です。

花は枯れ散るから美しいと言われております。私達が花を選ぶ



取材を終えて

この度は取材を通して、「花」をより身近に感じる事が出来、そして「花」があることで、心に思い出を刻んだり気持ちをコントロール出来たりすることを学ぶことが出来ました。「花」に対する想いが大きく変わりました。色々な場面で出会う「花」をより輝かせるための知識も頂けたので、永く輝かせるように飾ったり、何よりも「花」を観て楽しむ喜びと飾って楽しむ喜びを理解出来たことが自身の成長と感じ、嬉しく思います。

(第2編集部 石井)

としてポイントを教えてください。またシチュエーションによって選ぶ花は異なるのでしょうか？

もちろん使用の都合で変えるべきだと思います。しかし形うんぬんよりも気持ちですよね。例えば玄関に花が飾ってあると空気が違います。花を飾る事で気持ちのコントロールが出来たりします。花を綺麗に魅せるポイントとしましては高低差、つまり、「高い」「低い」をつけて飾ることで綺麗に見えます。

最近の花を取り巻く環境の変化はありますか。また花の持つ雰囲気についても聞かせてください。

今の若い方の中には花が嫌いとかまで言われている方もおり、花の需要は減ってきています。しかし花を一輪でも飾ると家庭でも職場でも雰囲気ががらりと変わりますよね。そのため皆様には一輪でも飾るという「普段使い」でかまいませんので家庭や職場に花を飾って頂きたいと思っています。

また、最近では裾野を広げるために小学校を回って子どもたちに花について知ってもらう活動をしています。

皆様には、花が身近に、日常的にあることが自然で当然である生活をして頂きたいと思っています。

花には一つ一つ花言葉が存在しています。好きな花言葉は？

やはり「情熱」の意味を持つ「バラ」が好きです。

今も昔も贈り物として多くの方に選ばれています。プロポーズですとか御祝いに束でお渡しする、また一輪で箱に入れてプレゼントするなど昔から愛されている花で思い入れもあるので品切れのない様に仕入れています。

実は山陰において作ってはならない花も存在します。皆様が聞きなれた「カーネーション」は山陰では雨が多いので厳しいのと、



日照の兼ね合いで「バラ」この2つは実は環境的に栽培に適していないとのが分かりました。しかし品質改善は島根県が日本一です。山陰では「菊」を育てるのに最も適しています。

地域によって環境が変わり栽培するのに適した花や、日常で目にする花など様々な花が企業の努力により私達の目の前に届けられています。身近にある花に少し目を向けてみてください。新しい発見がきっとありますよ。



秋田導秀OB、小説『ザ・ウォール「壁」』を出版!!

当会24期卒会の秋田導秀OBが本年10月15日に小説を出版されたと聞き、執筆の経緯、タイトルに込められた思いなどを取材させていただきました。

タイトルは「ザ・ウォール「壁」」(文芸社)です。

約15年前まではまったく本を読むことがなかったという秋田OB。しかし、あるときふと本を読みその良さに気づき、その思いからさらに本を執筆してみようと思ったとのことです。

今回の本は「原発は安全なのか」という着想から、11年前から少しずつ執筆したとのこと。

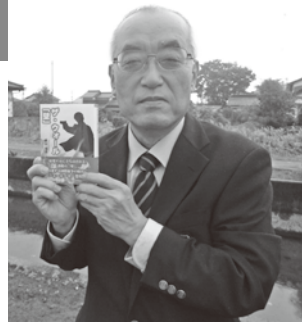
タイトルには、「国とはすなわち壁」であり「壁により外敵や外圧から国の安全を守り、内部にいる国民・家族を守っている」という意味を込めているとのことでした。

読者に対しては、「本の中の出来事が実際に起きたらどうなるのか」ということを考えてほしい、とのことでした。

原発テロを描いた大作である本作。まだ読まれていないという方はこの機会にぜひ手に取ってお読みください。

次の作品の構想を考えているという秋田OB。次回作も大変楽しみにしています。

(記事:小原)



irotoridori

第47期会長 奥森 秀夫

「青空」「ラブレター」「人にやさしく」「リンダリンダ」挙げればきりがありませんがこれはぼくが大好きな“THE BLUE HEARTS”の楽曲です。初めて聴いたのは小学校高学年でした。ドブネズミみたいに～♪衝撃的な歌詞でした。あれから、30年以上経ちますがぼくの中では今でも色褪せることの無いバンドです。そして、今でも何か決断をする時、新しい事にチャレンジする時、大きな取引に向かう時、必ず聴いて臨みます。これは、一つのルーティン、ゲン担ぎのようなものです。もちろん、臨むまでに自分なりに完璧な準備をしているつもりですが最後の一步を踏み出せるように背中を押してもらっています。私達はこれから先も様々な事に臨んで行かなくてはなりません。覚悟の一步を踏み出すためのゲン担ぎかがでしようか。

現役No.1～彩～

政治行政委員会 尾関 元治
(大樹生命保険株式会社 米子営業部 営業部長)

小学4年生から高校3年生まで続けたバスケットにおじさんになった今でも継続してハマっております(笑)バスケットのことなら現役で一番詳しいと自負しております!体脂肪は現役時から2倍に、体重は20キロ程増加したため、体力的にバスケットをすることは難しいですが、今でもNBAやBリーグ、大学生、高校生の年代まで幅広く観戦しております。特にNBAはバスケットの神様マイケル・ジョーダンが現役終盤の頃から現在に至るまで約27年間観続けております!会員の皆様はスラムダンク世代の方も多いと思いますが、私もスラムダンクを観て育ちました。バスケット好きの方、スラムダンク好きの方いらっしゃいましたら是非一緒に話しましょう!よろしくお祈りします!



私の愛しや精神

広報委員会 泉出向理事
中西悠介(株LABO工事部次長)

この度紹介させていただくのは私の愛車ではなく、会社の皆に愛されている三菱の3tダンプです。このダンプに助けられた人は会社のメンバー～下請けメンバーと数知れず、解体廃材、生コン、アスファルト、砕石、真砂、重機と色々な物を積まれても文句の一つも言わずに山陰地方を駆け回っています。会社の車両の中でも一番の古参ですが、古参を感じさせることなく今日もフル稼働しています。

「3tダンプ38-1長生きしてくださいね。LABO一同より」



11月役員会報告

令和3年11月1日(月)米子市公会堂 集会室6・7にて11月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 10月例会開催の件
 - 鳥取県中小企業青年中央会の件
 - 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会の件
 - 11月例会開催の件
 - 12月例会開催の件
- ※なお詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

コロナ感染も落ち着き、中央会活動も活発になってきました。そんな中、ボウリングが一部で流行るのではと思っております。これは前期の月刊ストライクが素晴らしいものだったのではないかと自画自賛をしております。皆さんボウリング場にいらっしゃいませ。

(広報委員会 河津 孝彦)

こんにちは 赤ちゃん



依 芽瑠(める) 2021年9月3日生まれ
828gと小さく生まれ不安で押し潰されそうでしたが、こんなに小さくても産声を上げたと聞き嬉しく思うと同時に娘から勇気をもらえました。
家族が増えこれまで以上に社業、中央会共に邁進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。
地域彩り委員会 副委員長 依 陽介
株式会社石田コーポレーション米子支店
設備機販部 次長